

**鉱物資源、観光資源の利用上必要なもの（法第34条第2号）**

知立市建設部建築課

図書の種類	明示すべき事項
申請書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前文は該当するものを□等で囲む</li> <li>・1欄：実測面積（小数第2位まで）</li> <li>・2欄：具体的な用途を記入</li> <li>・3欄：新築の場合は斜線を引く</li> <li>・4欄：「法第34条第2号 鉱物資源、観光資源の利用上必要なもの」と記入</li> <li>・5欄：特定都市河川浸水被害対策法許可、農地法許可、水路占用許可、道路工事承認等の状況を記入</li> </ul>
調査票	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所定様式により関係課等から確認を受けること</li> </ul>
<b>■添付資料等</b>	
委任状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委任者の住所、氏名</li> <li>・代理人（受任者）の住所、氏名、電話番号、メールアドレス、手続にかかる資格等のある者はその申告（建築士、行政書士、建築士事務所登録等）</li> <li>・地名地番 ・主要用途 ・工事種別 ・委任事項 （必要に応じて、「着手」「変更」「制限解除」「完了」等についても言及）</li> </ul>
建築理由書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市長あて ・日付 ・申請者記名 ・自己の業務用 ・施設用途</li> <li>・資源の名称、種類、特性</li> <li>・建築する理由（施設の必要性、目的、現状、経緯等）</li> <li>・申請地選定理由（申請地に立地する必要性、申請地状況、付近状況等）</li> <li>・資源を有効利用する上で、市街化区域ではできない理由（市街化調整区域でないといけない理由）</li> </ul>
事業計画書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日付 ・申請者記名 ・事業目的 ・事業内容</li> <li>・施設の名称、用途、規模 ・経営者、従業員数 ・営業品目、規模、取引先</li> <li>・営業開始予定時期 ・営業曜日、営業時間 ・管理計画</li> <li>・資金計画（営業開始まで、営業時の両方） ・収支計画</li> <li>・資金根拠添付（預金残高証明、借入証明等）</li> </ul>
会社登記簿謄本	<ul style="list-style-type: none"> <li>■法人の場合 ・事業目的</li> <li>※法務局で取得した原本を基本とする（申請日から3か月以内のもの）</li> </ul>
会社定款	<ul style="list-style-type: none"> <li>■法人の場合 ・事業目的</li> </ul>
議事録の写し	<ul style="list-style-type: none"> <li>■法人の場合 ・組織としての施設建設の方針決定がされていること</li> </ul>
資格証明書	<ul style="list-style-type: none"> <li>■事業上資格が必要な場合 ・資格証の写または資格証明書</li> </ul>
資源一覧表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資源の所在 ・資源の品目、数量等</li> <li>・資源の出荷証明書、取引証明書等（取引先から申請者あて、日付）</li> </ul>
土地登記簿謄本	<ul style="list-style-type: none"> <li>※法務局で取得した原本を基本とする（申請日から3か月以内のもの）</li> </ul>
同意を得たことを証する書類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申請者の住所、氏名</li> <li>・同意事項（土地の所在、地目、面積、権利の種類、同意年月日、権利者の住所、権利者の氏名）</li> <li>※施行の妨げとなる権利者（所有権者）全ての同意</li> <li>※建物があれば建物の権利者の同意も必要</li> </ul>
誓約書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市長あて ・日付 ・申請者記名</li> <li>・土地の所在、面積 ・建物用途 ・「転売」「賃貸」「用途変更」しない旨記入</li> </ul>
承認工事等の写し	<ul style="list-style-type: none"> <li>■承認工事、占用許可等がある場合 ・承認工事承認書等の写しを添付</li> </ul>
その他市長が必要と認める書類等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排水承諾書等の写しを添付</li> <li>※その他は個別に相談</li> </ul>

■ 図面等	
付近見取図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図面名称 ・ 方位 ・ 縮尺 (1/2,500 以上) ・ 申請区域 (赤塗)</li> <li>・ 申請地周辺の公共施設 (市発行の 1/2,500 図使用の場合は記入不要)</li> <li>・ 排水先の河川への経路 ・ 市町村界 (紫)、名称 (黒枠)</li> <li>・ 市街化区域と市街化調整区域の境界 (橙)、名称 (赤枠) ・ 設計者記名</li> <li>・ 資源の位置 (桃枠)</li> </ul> <p>■ 観光資源の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県または市町村の観光開発計画に基づき指定された区域</li> </ul>
土地の公図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 申請区域 (赤枠)</li> </ul> <p>※法務局で取得した原本を基本とする (申請日から 3 か月以内のもの)</p> <p>※申請地隣接地が字界となる場合は対側の図面も添付</p>
実測図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図面名称 ・ 縮尺 ・ 作成者記名</li> </ul> <p>※図上求積可</p>
敷地現況図 排水施設計画平面図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図面名称 ・ 方位 ・ 縮尺 (1/200 以上) ・ 申請区域 (赤枠)</li> <li>・ 敷地の境界、寸法 ・ 敷地、隣地、道路、水路等の高さ</li> <li>・ 擁壁等の位置、仕様 ・ 建築基準法の道路の種類、幅員 (2 か所)</li> <li>・ 建築物の位置 (寄寸法)、用途、出入口位置</li> <li>・ 排水施設の位置、種類、材料、形状、内法寸法、勾配、排水方向</li> <li>・ 敷地内雨水排水方向 ・ 放流位置 ・ 放流先名称</li> <li>・ 占用許可、承認工事等の区域、許可等日付、許可等番号 ・ 設計者記名</li> </ul>
排水施設構造図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図面名称 ・ 縮尺 (1/50 以上)</li> <li>・ 最終排水桝、排水先の構造詳細図 (勾配、管種、泥溜め深さ等) ・ 設計者記名</li> </ul> <p>※用途によってはグリストラップが必要</p>
建物各階平面図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図面名称 ・ 方位 ・ 縮尺 (1/200 以上) ・ 面積表 ・ 主要寸法</li> <li>・ 各室の用途 ・ レイアウト ・ 設計者記名 ※物置等付属建築物も添付</li> </ul> <p>※資源利用に必要な工作物があれば工作物図面も添付</p>
建物立面図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図面名称 ・ 縮尺 (1/200 以上) ・ 最高の高さ ・ 最高の軒の高さ</li> <li>・ 2 面以上 ・ 用途にふさわしい外観 ・ 設計者記名</li> </ul> <p>※物置等付属建築物も添付</p> <p>※資源利用に必要な工作物があれば工作物図面も添付</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 愛知県の「人にやさしい街づくりに関する条例」に適合すること</li> </ul>

■ 注記
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土地の一部申請は不可。</li> <li>・ 申請に際して作成した図は、作成者の記名をすること。(押印は不要)</li> <li>・ 副本は、申請書を除き、正本の写しで可。</li> <li>・ 当添付図書等一覧では、建築許可 (法第 4 3 条許可) の場合において記載している。 開発許可 (法第 2 9 条許可) の場合は、開発の添付書類等も参照すること。</li> </ul>